

大津市立富士見小学校 基本の学習用具

毎日持ってくる学習用具は、みなさんの学習をしっかりとるものにする大切な物です。

学習にほんとうに必要な物は何か見直してみましよう。

【学校の学習に必要な筆記用具について】

① シャープペンシルは、どの学年も使わない。

小学生の間は筆圧（字を書くのに必要な力の入れ具合やバランス）を安定させる練習もかねています。しんのやわらかい濃いえんぴつが適しています。3本の指でしっかりえんぴつを持ち、濃く書くことで指先から刺激が脳に伝わるのです。

② 毎日えんぴつをけずってくる。

必ず家からけずってくるようにしましょう。学習のかまえ（さあ、今日も学習をがんばろう！）を作ることにもなります。

③ 赤えんぴつ（赤ペン）は必ず持ってくる。

※5年生以上はマーカーペン可。

赤えんぴつ（赤ペン）は、答え合わせの丸付けや大切な言葉を囲んだり書いたりします。

5年生以上は、わかりやすいノート作りのため、マーカーペンは持ってきてても良いとしますが、キャラクターや派手な模様、柄等のついているものは、学習の妨げとなるため、やめましよう。

④ 消しゴムは形のシンプルな消しやすい物を使う。

美しいいねいな字を書くのに、使いやすく字がよく消えるものが基本です。

⑤ 下じきを使ってノートに字を書く。

美しい字を書くために、きちんと下じきを使います。

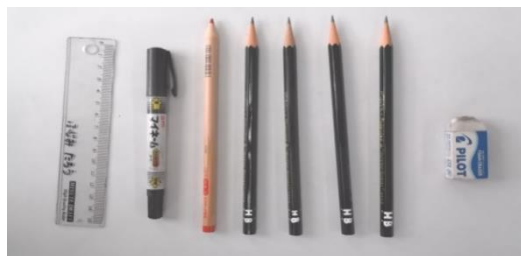
⑥ ふでばこは一人一つ。キーホルダーなどをつけない。

シャープペンと同様に、学習に集中できなかつたりトラブルのもとになったりします。キーホルダーなどはつけません。

学習に集中できる環境をととのえて自分の力を伸ばましよう。

【ふでばこの中身】

- 消しゴム（シンプルで消しやすいもの）
- 2 BかBかHBのえんぴつ5本
- 赤えんぴつ（または赤ペン）
- 黒ネームペン
- 長さ15cmぐらいの定規
（めもりのはっきりしたシンプルな物）



1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
○けずったえんぴつ 5本					
○消しゴム（シンプルで消しやすいもの）					
○黒ネームペン					
○赤えんぴつ1本			○赤えんぴつまたは赤ボールペン1本		
○色えんぴつ・はさみ（普段は引き出しの中に）					
○のり（普段は引き出しの中に）					
○定規（目盛りのはっきりしたシンプルなもの）					
○三角定規（普段は引き出しの中に）					
○コンパス（普段は引き出しの中に）					
○青えんぴつや 赤青黒の三色ボールペン			○赤青黒の三色ボール ペンやマーカーペン		
○分度器 （普段は引き出しの中に）					

一つの筆箱に入るように工夫ましよう。

自分から進んで学ぼう！

大津市立富士見小学校 家庭学習のすすめ

家庭で読書タイムを！

各ご家庭へのお願い



家庭での会話を大切にしましょう。

子どもたちは、話したがっています。ゆっくりと話を聞いてあげることで、気持ちが落ち着いてきますし、自分の行動に自信をもてるようになります。家庭学習や家庭での役割のがんばりについても大いに認め、ほめてあげてください。

場所と開始時間を決めて学習の習慣化を。

毎日継続して家庭学習ができるために、勉強部屋に限らず、落ち着いて家庭学習ができる場所と始める時間を話し合っ決めてあげてください。

下学年では宿題をきっちりと、上学年では宿題＋自学ノートで、自主的な家庭学習の定着をめざしましょう。

下学年では、まずは宿題をきっちりとすること。そして、学年が上がるにつれて、自学(自主学习)ノートでの計画的な学習の割合を増やしてあげてください。自学ノートの取り組みは、小学校だけでなく、中学校での家庭学習(定期テスト勉強)につながります。

家庭での読書タイムを作りましょう。

読書は心を豊かにするだけでなく、学力や意欲にも大きく関係します。家庭でノーテレビ、ノーゲームの日や時間を決め、静かな時間を作り出しましょう。大人も読書し、その姿を子どもに見せてあげてください。時には、読んだ本の内容などについて語り合うのも、とてもよい機会になります。

自学ノートの進め方

「この部分が苦手だから...」「このことに興味があるから...」「このことについてもっと力をつけたい...」と自分で学習課題を見つけ学習を進めていくことは、とても大切なことです。自学ノートは、その力を高めることができる方法の一つです。下の例をもとに、取り組んでみましょう。

反復練習型

漢字・計算などを繰り返し練習する。

練習問題型

教科書やドリルなどの問題を自学ノートに解答する。

授業の
まとめ型

その日までに学習した内容を、自学ノートにポイントごとに整理する。

発展問題型

教科書よりも難しい発展的な問題に挑戦する。

調べ学習型

関心がある内容について、新聞や図書、パソコンなどを使って調べたことをまとめる。

考えまとめ型

新聞の投書やコラム、図書などから自分の感じたことや考えたことを述べる。

知識が
アップ

理解が
アップ

応用力
アップ

活用力
アップ

学習時間のめやす
低学年は、30分
中学年は、45分
高学年は、60分

あなたは、どの型から始めますか？ 富士見小の友だちのノート例をのせました。参考にしましょう。

調べ学習型

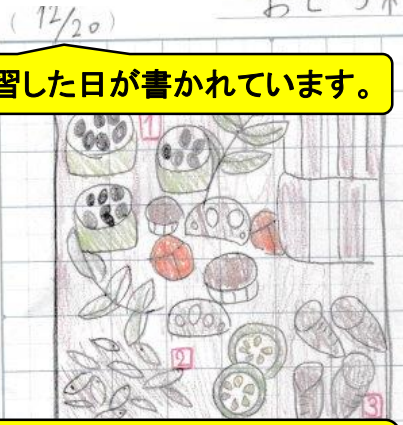
学習のテーマがしっかりと書かれています。

考えまとめ型

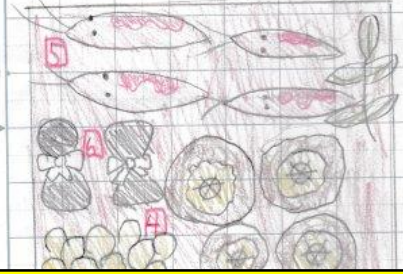
12月16日 日本の山や川、湖(地形)のようす

「おせち料理の意味」

学習した日が書かれています。



生活の中から学習の課題が見つけれられています。



絵と文章を関係づけて分かりやすくまとめられています。

「えび海老」
 えびのようにこしが曲がるくらいまで長生きすることを願って食べます。

「かずのこ歌の子」
 字にもや孫がたくさんおえるように、という願いがこめられています。

「くりきんとん(栗金団)」
 お金が増えることを願って食べます。

「こぶまき(昆布巻き)」
 上るこぶしというしからこぶまき

「おせちリョウリ」
 お節料理、めでたきをかさねる、といういみで、じゅうばこにつめてかえていただきます。

「くろまめ(黒豆)」
 「まめ(一生7人命)にはたらく、元気にくらせるように」といういみです。

「ごまめ(五万米)」
 作物がゆたかにおのることを願います。画作といひます。

「かずのこ歌の子」
 字にもや孫がたくさんおえるように、という願いがこめられています。

「くりきんとん(栗金団)」
 お金が増えることを願って食べます。

住んでいる地域と比べながら、考えがまとめられています。

日本には、多くの山や川、湖がある。
 日本は70%以上が山地で、平野は30%以下である。



資料をもとに、図や表を使って、1ページにうまくまとめられています。

調べ学習からわかったことや考えたこと、感想がまとめられています。

分かったことや考えたこと

- 海の近くには平野があってまん中には山がたくさんある。
- 日本には、山、川がたくさんあった。

感想

- 知らない地名がたくさんあり、しっかりとおぼえたい!

○ 私たちが住んでいる滋賀県には日本最大の湖があり、すこいと思っ